

宇宙地球惑星科学フォーラム

日時：2025年6月27日(金) 15:10-16:40

場所：アドバンスド・リサーチ・ラボラトリー
(アドラボ棟) 410号室

教養学部宇宙地球部会では、来る6月27日に第8回宇宙地球惑星科学フォーラムを開催いたします。今回は市山祐司先生（千葉大学）に、固体地球進化史についてご講演いただきます。東京大学や近隣の大学・研究所に所属する研究者・学生の方の参加を歓迎いたしますので、奮ってご参加ください。



市山 祐司

千葉大学 理学院 地球科学研究部門 准教授

オフィオライトや海洋底には多種多様な岩石が産出しており、海洋地殻から上部マントルにかけての形成過程の複雑さを物語っています。これらの岩石の成因的な関係を明らかにすることで、沈み込み帯の進化や物質循環、マントルプルームに起因する火成活動、さらには地球内部のダイナミクスの解明を目指しています。

オフィオライトから解読する 固体地球進化史

オフィオライトは、造山帯に取り込まれた多様な性質をもつ海洋リソスフェアの断片である。その起源については長年にわたって議論されてきたが、近年では一部のオフィオライトが沈み込み帯やマントルプルームに由来することが明らかになってきている。沈み込み帯起源のオフィオライトに関する研究は、海洋プレートの沈み込みに伴う島弧形成の初期過程から、大陸地殻の形成に至るまでの沈み込み帯の成長履歴や、マントルウェッジにおける物質循環の解明に貢献することが期待される。一方、マントルプルーム起源のオフィオライトは、地球内部のダイナミクスの長期変動や深部マントル物質の性質の解明に貢献するだけでなく、他の地球型惑星における火成活動の理解にも寄与する可能性を持っている。本講演では、オフィオライト研究および海洋底掘削によって得られた最新の研究成果と、それに基づく今後の展望について紹介する。